



秋の到来。ポーポキは、季節の変わり目にいつも少し不安定になります。安全な場所を見つけて、そこから変わる世界を見つめることにしています。あなたはいかが？安全な場所があるといいですね。

Popoki's Hot News!



この秋のイベント！

ポーポキと一緒に平和と健康を考える Part 5!

10月15日 兵庫医療大学地域連携室（7-8 頁をご参照）

ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語

～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅～」



ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、および感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのやこにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「気のおけない人たちと旅行や本の話をするとき、ふと平和っていいなと思います。幸せを感じるとき、そこに平和があることに気づいてはっとします。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki@gmail.com) !



灘チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>



ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project
10th Anniversary



ポーポキ・ピース・プロジェクト創立 10 周年をどのように記念しましょうか？

- ポーポキ・ピース・プロジェクトができて10年。
- 4冊の絵本。たくさんのにゃん友だち。さまざまなワークショップ。スタディツアー。延べ約200メートルのポーポキ友情物語の布。
 - 数々の笑顔。
- 最初の10年をふりかえり、次の10年に向けるためにどうすれば良い？みんなの素敵なアイデアをお聞かせください。
 - 今まで出たアイデアはたとえば…
 - 新しいTシャツをつくる
 - グッズ（バッグ、帽子、クリアファイルなど）
 - ポーポキ郵便切手
 - 映画の上映会（原爆を中心？ちょっと高いものとか、数本とか？）
 - ポーポキを語り合うパーティーや合宿
- 子どもの権利条約フォーラム2016の分科会を立ち上げる



あなたの提案は？ronniandpopoki@gmail.com へ
ぜひあなたの素敵なアイデアをお送りください！

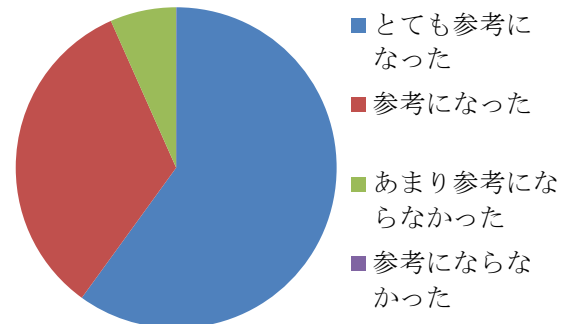


今年もポーポキとさとにゃんと、8月9日に JICA 関西でワークショップをしました。15名の参加者と盛り沢山のワークと最後のお絵かきタイムを通して、みなさんの「平和」のイメージが豊かになりました。そして、教育や活動の現場でどのように平和教育を展開すれば良いかのヒントになったと思います。以下、参加者アンケートをまとめたものを紹介します。

① 分科会は参考になりましたか？

とても参考になった 9 名
参考になった 5 名
あまり参考にならなかった 1 名
全く参考にならなかった 0 名
無回答 0 名。回答数 15 名。

全体評価

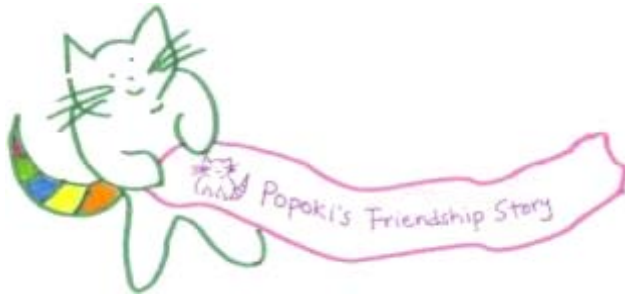


とても参考になった理由

- ・平和について今までとは異なった概念で考えることができた。
- ・様々なワークショップを体験できてよかったです。
- ・平和について漠然とした考えしかなかったが、もっと身近で具体的に考えることができた。
- ・平和学のベースをわかりやすく体験的に学べた。
- ・気づいていない見えない暴力が身の周りにたくさんあると気付いた。
- ・平和という概念は難しく考えがちですがもっと身近に感じて考えて行動して良いという点。
- ・ワークショップが盛りだくさんだったので、また持ち帰って現場でやってみたい。

参考になった理由

- ・分かり易いワークショップを通じて平和を考えたのが良かった。
- ・その人によって何が平和かという定義も違うし、自分たちの気づかないところで暴力があったということを知れたからです。
- ・ワークショップや参加型の部分があるのがよかった。
- ・とても工夫されていて興味深かったです。五感を使うようにという感じで。”



Popoki's Interview

聞き手 ろにゃん

Sさんとコミュニティーを考える

久しぶりに仙台に行ってきました。そこでSさんとこの5年間を振り返りながら、とくに「コミュニティー」を中心に話しました。その内容の一部を紹介します。

・Sさん一家は、2011年3月11日に津波によって家も田んぼも失い、避難所や借り上げアパートを経て、昨年に同じ区(場所は違う)に家を建てることができました。はやり「復興」と言えるでしょう。しかしながら、震災の影響はSさんの生活のあらゆる面に続いています。今回は、「コミュニティー」をキーワードに「復興」の話をしました。

・ろにゃん(R): 仙台市では、震災はもう終わったものだともみる人は多いですか？復興はできていますか？

S: そう思っている人は多いんじゃないかな。いろいろな人はいるけどね。

R: Sさんはほかの人より先に新しい家にたどり着いたと思いますが、震災前に同じ地区に住んでいた人たちは今、どんな感じですか？

S: みんなは仮設住宅から出ていますね。でも、バラバラになっています。仙台市が田んぼを買い上げて、それを被災者に貸しているけれど、そこに行った人が多いんじゃないかな。行ってみますか？

R: ぜひ！車で仙台市南部へ走り出した。

S: ここで家を建てると、30年間は土地を無料で貸してもらえます。30年経ったところで、市から土地を買うか、新地にして返す。30年は長いとみるかどうか。次の代の問題だと考える人もいれば、今だけで終わるので、返すつもりでいる人もいるらしい。もちろん、買い取るときの条件などは契約するときにもう決めている。

R: 家を建てるにも壊すにもお金が必要ですね。補助金はありますか。

S: いくらかはね。でも、それでは家を建てることはとても無理でしょう。

R: Sさんは家を建てたときに市から支援はありましたか？

S: ありました。そうだね。それで小さな倉庫ぐらいは作れたかも。

R: ここは元は田んぼだったんでしょう。下水関係とか電気、ガス関係など、市はちゃんと整備してくれているの？

S: それはやっているでしょう。ショッピングモールもできて、便利ですよ。震災と関係がないのかもしれませんが、老人ホームもあります。そして、復興マンションも。被災された人は、収入によって家賃が決まるアパートのこと。いろいろなものができてきている。

R: 集落ごとに住んでいるの？

S: くじ引きだからね。住みたい土地が空いていれば決まる。二人以上が同じ土地に手を上げたらまたくじ引き。同じ地域に住んでいるけれど、前と同じ近所では必ずしもない。でもね、コミュニティとは言っても、となりに住みたくない、住んでほしくない人はいるよね。代々のおつきあいだから仕方がないけれど、選べるなら選ばない人っているよね。

R: 復興の語りの中で、コミュニティがいつも強調されます。震災によって壊されたコミュニティを取り戻すとか、新しく形成するとか。新しいところで新しいコミュニティはどのようにしてできると思いますか。

S: 住んでいるとできるでしょうね。私は町内会に入りました。なにも言ってこないけれど。でも、地域だからいろいろなことをやらなければならないでしょう。そういう時に必要です。前はいろいろありました。地域のお祭りは年に4回あったし、運動会などの行事もありました。数回ごとに必ず担当になるけれど、そういうときは大変。お金を集めたり、参加を募ったりしないといけないですね。みんな性格が違うから、お金は出すけれどいつも文句をいうとか、出すと言ってださないとか……。運動会が一番大変。地区は6つあったけれど、強いところは一つ、ある程度できるのも一つ。後は全然ダメ。そういうところの人に「ぜひ出てください」と頼むのがつらい。

R: 神戸の震災のあと、ある会議に出たら、30歳代の男性が「みんなはコミュニティのことを言っているけれど、ぼくはそういうのがいやなために都会に来た」と言って、怒りました。

S: (笑い)。そうよね。私は「若いんだから」とか「嫁だから」と言われて、やっていたけれど、いやな時も大変なときもあった。今の生活にはそれから逃れてよかったと思うことがありますね。

R: 田んぼの仕事がなくなって、生活のリズムは変わってきたでしょうね。

S: そうね。田んぼはなくなって、今は組合みたいなものを作って協働に運営しているけれど、私はやっていない。することだけではなくて、ものもないよね。お正月のおもちや、餅つきがなくなったのね。何もかもが無くなったので、一つひとつは買うか、買わないか。工夫はするけれど、これでいいかしらと思うこともありますね。みんなが適当な距離で付き合えたらいいでしょうけれど。近所というかコミュニティというか、お互いを助け合うことができる。昔は犬を飼っていて、家をあけると近所の人に犬のえさと散歩を頼むことができて、よかった。

R: 私は先日、近所の人に「家をあけるときにメモを残してくれたら水やりをしてあげるよ」と言われて、とてもうれしかった。そういうコミュニティが役に立ちますね。でも、維持することが大事です。

S: そうですよ。人間もわんちゃんもはなちゃんもみんなにとって良いのは良いですね。

一人ではやっていけない。けれど、たくさんの人があまり近くにいてうっとうしい。どうすれば適当な距離を保つことができるのか。防災の大事なテーマだと再確認しました。Sさん、ありがとうございました。

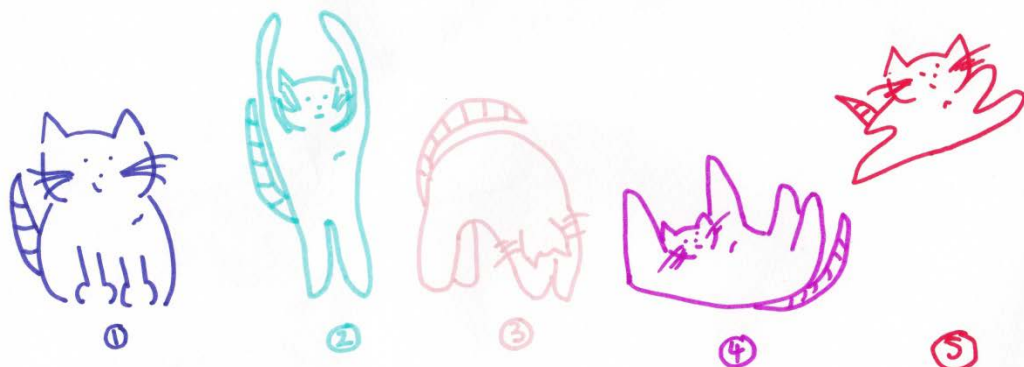


新しく建てられた家。S: 私の家を含めて、ほとんどの家は同じ会社が受け持っている。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 100

今月のテーマは、100 回目のポガを祝おう！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立ちましょう。そして、数字の1のように、体をまっすぐ伸ばしましょう。しっぽもね！
 3. 次は、つぎは0を目指します。背中を丸めましょう。できる方は足首を持って、まるになってね。
 4. 今度は、仰向けになって、手と足で0をつくりましょう！ポーポキは途中でストップしてまったが。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会：10月15日 14:30～ 兵庫医療大学地域連携実践センター

- * 10月7日～10日 ポーポキin大槌町
- * 10月15日 14:00～16:00 「ポーポキの平和と健康ワークショップ」兵庫医療大学地域連携室
- * 10月26日 ポーポキat網干高校 ワークショップ
- * 11月3日 ポーポキ at トロント・ヨーク大学 (予定)
- * 11月7日 ポーポキ in ピッツバーグ
- * 12月10月～11日 子どもの権利条約フォーラム(大阪)でポーポキの分科会(11日)
- * 12月下旬 ポー年会
- * 2017年2月 ポーポキ in 大槌町



ポーポキの友だちからのお知らせ

- 7.28「7月28日を子どもの命を守る日に」主催。「都賀川水難事故犠牲者をしのぶ会」都賀川公園（「グルメ シティ灘」の東側、甲橋付近）。問い合わせ先：090-2704-0546
 - 新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。
- すてきな写真集です。注文などは：下記のサイト又は前田圭子さんへ。

m.dodo@h2.dion.ne.jp <http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

兵庫医療大学 地域交流プロジェクト *HUHS* *WS* *Peace and Health*

健康って、なに色？

ポーポキピースネットワーク



あなたも 平和のねこと一緒に
健康と平和について
感じたり、考えたりしませんか？



平和って何だろう？健康って何だろう？

普段何気なく聞いたり見たり感じたりしていること。

ねこのポーポキと一緒に平和や健康の観点から暮らしを見直してみませんか？

防災から見た健康って、なに色？みんなで一緒に考えてみよう！！



スケジュール Program

- 13:30 受付 registration
- 14:00 「ポガ」タイム Poga ※ポガ：ポーポキのヨガ
- 14:05 ワークショップ①「ポーポキ、健康って、なに色？」 Workshop 1
Popoki, what color is health?
- 14:30 散歩して平和と健康、安全・安心を探そう *雨天は室内で決行
Walk outside and look for peace and health, safety and security
in case of rain it will be held indoors
- 15:10 ワークショップ②「防災から見た健康って、なに色？」 workshop 2
What color is health from the perspective of disaster prevention?
- 15:50 まとめ、発表 Conclusion, presentations
- 16:00 解散 Dismissal

日時 2016年10月15日（土曜日）

14:00~16:00

場所 兵庫医療大学 地域連携実践センター

対象 どなたでも参加できます。 All welcome

定員 30名 Maximum 30 participants

会費 100円 Fee: 100 yen

申込方法 FAX（裏面）にてお申し込み下さい。 Register by fax (reverse side)

問合せ先 兵庫医療大学 地域連携実践センター Information: HUHS (below)

電話 078-304-3013（受付時間：平日9時~17時）

担当者 兵庫医療大学薬学部 桂木聡子 Contact Popoki Peace Project or Satonyan



兵庫医療大学
社会学連携推進機構

あなたも 平和のねこと一緒に
健康と平和について
感じたり、考えたりしませんか？

FAX でお申し込みの方はこの用紙にご記入の上、下記まで送信して下さい。

FAX 送信先 ▶ 078-304-2713

兵庫医療大学 地域連携実践センター

申込日 月 日

ふりがな
お名前 (小学生以下のお子さん参加 有・無) ※お子さんのお名前もご記入ください
ご住所 〒
電話番号 () -
緊急連絡先 氏名 電話番号 () -

(注) お子さんも一緒の場合は保護者の方の責任においてご参加ください。

ご記入頂いた個人情報は、本企画の目的以外には使用いたしません

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO : 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいからなんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8 10面





What Popoki Means To Me

Chan-Nyan

Japanese: Hazunyan

なぜ、同じ世界で同じ太陽の光を浴びている人間同士が互いに戦ったり殺しあったりするのでしょうか？「平和でない」という状態は、毎年世界中で何千何万もの人々の生活の場や命さえ奪っています。歴史を振り返ると、これまで多くの人々が暴力や争いによって時々の問題を解決しようとしてきたことが分かるでしょう。そのような場面では被害者となる人々、特に女性や子どもに対する尊敬や思いやりはありません。

私は高校生の頃から争いの被害者となるような人々を助けたり寄り添ったりできる人になりたいと思っていました。各地の平和活動にも参加しています。神戸では、ピースアンドデベロップメントという講義の中で、ろにゃんがポーポキという素晴らしい友人を紹介してくれました。最初のうちは慣れなくて変な感じがしましたが、ポーポキのことを分かろうと努力しました。幸運なことに、畿央大学でのポーポキの活動に参加する貴重な機会がありました。そこで私の今までの経験や感じていることをポーポキや友だちと共有することができました。

ポーポキはいつも私に「愛と平和」が意味することや、その関わりについて考えるきっかけやヒントをくれます。それは、平和は争いを通じて得ることは決して出来ず、愛すること、話し合うこと、互いに分かり合おうとすることによってのみ可能となる、ということです。



(畿央大学の学生さんが描いてくれたポーポキと友だちの絵です。)

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!